

# 市長に都倉昭二氏当選

## 都留市長選挙

任期満了による都留市長選挙は、十一月十日市内十八の投票所で投票が行われ、即日開票の結果、都倉昭二氏が当選し、翌十一日午前十時から市役所第一会議室で当選証書附与式が行われ、小俣陸雄選挙委員長から当選証書が附与されました。

投票、開票の結果はつぎのとおりです。

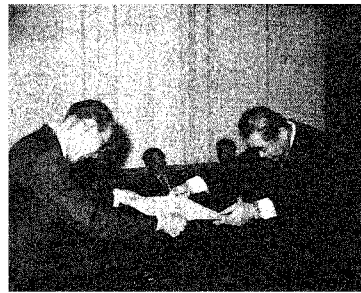
○投票  
有権者数 男 一一、〇二九人  
女 一一、七六九人  
計 二二、七九八人  
投票者数 男 九、九一〇人  
女 一〇、八五五人

投票率  
計 二〇、七六五人  
男 八九・八五％  
女 九二・二三％  
計 九一・〇八％

○開票



11月11日に行われた  
当選証書附与式



投票総数 二〇、七六五票  
有効投票 二〇、五八八票  
無効投票 一七七票  
○得票数  
都倉昭二 一一、七六七票  
小林信夫 八、三四六票  
小林良作 四、七四票  
(按分による小数点以下省略)

## 今月のふるさと

### カレンダー

#### 十二月の写真説明

蓄音機で音楽鑑賞……ちくおんき(蓄音機)を百科辞典で調べて見ると、『一八七七年にエジソンが発明し、一八八七年にベルリナーにより、今日みられるようなディスク式レコードを考案した。グラモホンと名付けられたこの演奏機が蓄音機の原形である。』とあ



りました。日本では、明治後期に作られたようですが、写真の蓄音機は、日本コロムビア製のディスク式蓄音機と思われまます。正月に近所の人々が集まり、この珍しかった蓄音機で何を聞いているのでしょうか。この次の形の蓄音機は、小形山の尾県郷土資料館に保存されてあります。写真は、小宮喜蔵氏(中央一丁目)からお借りしたものです。

## 国勢調査速報

### 市人口 初めて3万3千人台に

#### 昭和60年 国勢調査 地区別人口および世帯数

地区名	人				世帯数	
	総数	男	女	増減率(%)	総数	増減率(%)
上谷	5,974 <sup>A</sup> (5,842)	2,718 <sup>A</sup> (2,601)	3,256 <sup>A</sup> (3,241)	2.26 (132)	3,071 <sup>B</sup> (2,882)	6.56 (189)
下谷	5,688 (6,127)	2,759 (2,964)	2,929 (3,163)	△7.17 (△439)	1,736 (1,870)	△7.17 (△134)
三吉	2,020 (1,928)	994 (955)	1,026 (973)	4.77 (92)	510 (457)	11.60 (53)
開地	2,131 (1,762)	1,057 (886)	1,074 (876)	20.94 (369)	556 (441)	26.08 (115)
東桂	7,112 (7,087)	3,525 (3,498)	3,587 (3,589)	0.35 (25)	1,951 (1,886)	3.45 (65)
宝	2,703 (2,773)	1,336 (1,378)	1,367 (1,395)	△2.52 (△70)	655 (644)	1.71 (11)
禾生	5,987 (5,798)	2,940 (2,890)	3,047 (2,908)	3.26 (189)	1,619 (1,493)	8.44 (126)
盛里	1,545 (1,584)	782 (788)	763 (796)	△2.46 (△39)	368 (361)	1.94 (7)
市計	33,160 (32,901)	16,111 (15,960)	17,049 (16,941)	0.79 (259)	10,466 (10,034)	4.31 (432)

( )内数値は前回55年調査数値 △は減少  
ただし、増減率欄の( )内数値は、前回55年調査結果との差

昭和六十年十月一日現在で行われた国勢調査結果(速報)を発表します。  
市人口は、三万三、一六〇人で前回五十五年国勢調査より二五九人増え、国勢調査が始まってからの最高を更新し、初めて三万三千人台に達しました。伸び率は〇・八％で、前回より下回りましたが、昭和四十年調査から着実に増え続けております。これは、企業

誘致や公営住宅建設などが要因と考えられます。世帯数は、一万四六六世帯で前回より四三二世帯(四・三％)の増。一世帯当たりの家族数は三・二人で、前回より〇・一人減少しました。  
地区別の男女別人口、世帯数は表のとおりですが、後日総務庁統計局で公表する結果とは異なる場合があります。企画課・広報統計係